

東京エレクトロンの知財・無 形資産戦略：独自提案整理

ガイドラインVer.2.0視点による

As Is / To Be / 差分解消提案

現状（As Is）における独自の解析

- - 他社への拒絶理由引用件数に基づく「けん制力」評価
- - 発明者育成・知財創出と財務成果（ROIC等）の非可視性を指摘
- - 非中核IPのライセンス・資産化可能性を強調（未活用領域）

目指す姿（To Be）における独自提案

- - 知財ROIやライセンス収入比率などの新KPI導入提案
- - グリーン特許（CO₂削減寄与）に関する数値目標設定
- - 装置データ×SaaSモデルによる継続収益化戦略の提示
- - IP&Intangibles委員会の取締役会直下設置の提案

差分解消戦略における独自提案

- - 赤字特許の売却やIP-backed ESG債による金融資産化
- - 地政学リスク・知財侵害リスクを可視化するダッシュボード導入
- - AIアルゴリズム・プロセスノウハウの営業秘密管理と社内資産化
- - 人材→発明→特許→製品→ROICへの因果パスの可視化提案

総括と活用提案

- - 知財の「財務性」「社会性」「組織性」「収益性」の可視化が鍵
- - ガイドラインVer.2.0に基づく投資家対話
 - 価値創造ストーリーの強化
- - これら提案を統合報告書・中計・IR説明資料に反映可能